DC 電源分配ユニット

PSY-30

取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

101498R00

この製品を安全にご使用いただくために

⚠ 警告

誤った取扱をすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

・指定された電源電圧以外では使用しないでください。

・AC 電源(室内電源)の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。

・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。

・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。

・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。

・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にからませないでください。

・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。

・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。
　機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合にはすぐに電源スイッチを切るか
　電源プラグを抜いてください。

・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。

・空調設備を確認してください。

・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取付け場所を確認しておきファンが停止して
　いないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。

・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。

・消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。

・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。

・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

・部品の取付け方法(極性の逆等)を誤ると危険です。

・電源が入っている時に行うと危険です。

・規格の異なる部品の交換は危険です。

5、その他

・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。

・重量のある機械は１人で持たないでください。最低２人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。

・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。

・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。

・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
　また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。
　そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。

・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。

・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。

・長時間運転による発熱にご注意ください。手などの皮膚が長時間にわたり本体へ触れていますと、低温やけどを起こす
　可能性があります。

・正面パネルなどを開閉する作業が必要な場合は、作業後に必ず元の通りに閉じてください。

注意

誤った取扱をすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1、本製品を取扱う際は

・直射日光、水濡れ、湿気、ほこりなどを避けて使用してください。

・身体の静電気を取り除いてから作業を行ってください。

2、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

・コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチや部品の接触不良になります。

3、機械の持ち運びに注意してください。

・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
　また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

4、フロッピーディスクやMOディスクを取扱う製品については

・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。
　マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。

・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。

・フィルターの付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。
　通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。

・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データーに影響を及ぼす場合があります。

・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

・大切なデーターはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。

・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。

・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。

・ファンのほこりの清掃

・カードエッジコネクタータイプの基板はコネクタの清掃を一ヶ月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先・・・・・・ビデオトロン株式会社
〒193-0835　東京都八王子市千人町２－１７－１６

TEL　　042－666－6329
FAX　　042－666－6330
受付時間　8:30～17:00
E-Mail　　cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先
留守番電話　042－666－6311
緊急時　**090－3230－3507
受付時間　9:00～17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

……………… 目 次 ………………

1. 概　説

PSY-30 は、DC12V/合計 7.5A（使用可能な電流容量は 6 分配の合計が 7.5A になります。）を 6 分配する事ができる DC 電源分配ユニットです。オプションを使用する事により、当社 25 シリーズ・30 シリーズへの接続や電源二重化での運用やラック実装での運用も可能です。

■特　長

- ✓ DC12V(合計 7.5A)を 6 分配する事が可能※1
- ✓ 電源二重化オプションに対応※2
- ✓ アラーム接点は電源異常、電源停止のいずれかでクローズ
- ✓ 前面パネルは開閉可能で、電源増設・交換が容易※3
- ✓ RM-25A ラックマウントキットに取り付けてラック実装での運用も可能
- ✓ 当社 25 シリーズ・30 シリーズへの接続可能なケーブルオプションあり※4

※1 使用可能な電流容量は 6 分配の合計が 7.5A になります。6 分配の合計消費電流が 7.5A 以上になると保護回路が働いて
電源供給機能が停止するか異常発熱により筐体破損を起こしますので、確実な仕様範囲内でのご使用をお願いします。
PSY-30 本体へ筐体を接続する際、一瞬ですが供給電圧に電圧降下が発生します。筐体の接続時には PSY-30 本体の電源を切るか
接続する筐体が電圧降下範囲内で稼働できるかの確認をお願いします。
参考値･･･消費電力 1A 電圧降下約 1V :消費電力 2A 電圧降下約 2V:消費電力 7A 電圧降下約 5V

※2 電源二重化オプション PSY-30-01 のご購入については当社営業部までお問い合わせください。

※3 運用時は前面パネルを閉めてください

※4 ケーブルオプション PSY-30-02(キャノン(f) ⇔ キャノン(m) DC 電源ケーブル 1m) のご購入については当社営業部まで
お問い合わせください。

2. 構　成

・筐体は以下の構成になっています。開梱後、付属品などが不足していないかお確かめください。
万一、不足している品物がございましたら、お手数ですが当社製造技術部までご連絡ください。
※付属品が不足している状態でのご使用は避けてください。

1. PSY-30

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	筐体	PSY-30	1	
2	PSY-30 電源二重化オプション	PSY-30-01	1(2)	標準 1 台 筐体へ実装済み
3	キャノン(f) ⇔ キャノン(m) DC 電源ケーブル 1m	PSY-30-02	0(6)	オプション購入時に 同梱します
4	AC ケーブル		1(2)	標準1本
5	取扱説明書		1	本書

3. 各部の名称と働き

1. 筐体前面

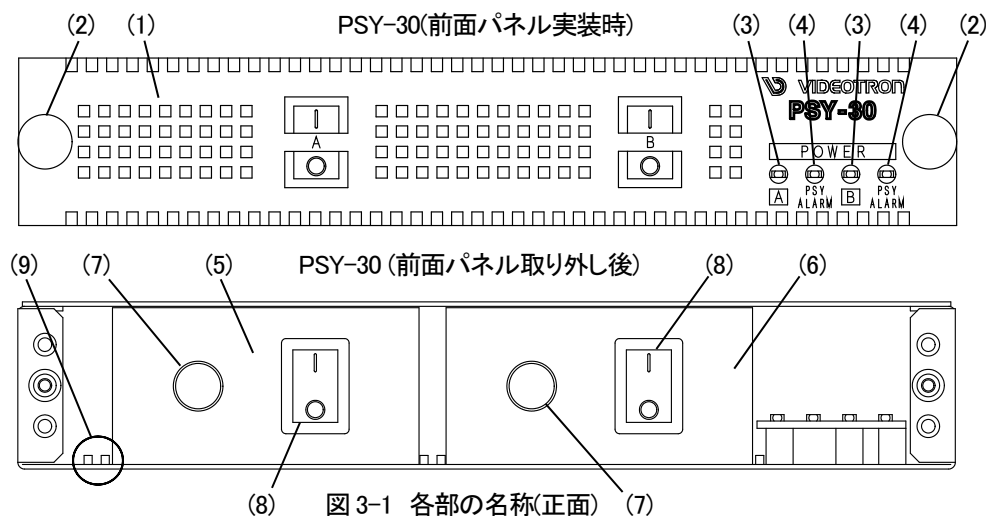



図 3-1 各部の名称(正面)

(1)前面パネル

PSY-30(以下、筐体)の前面パネルです。電源増設や交換をする場合には外してください。

(2)前面パネル固定用ネジ

前面パネルを固定します。前面パネル使用の際は確実に固定の上ご使用ください。

(3)POWER LED

PSY-30 電源二重化オプション(以下、電源ユニット) A、B に対応した電源ランプです。

電源スイッチを ON にすると緑色点灯し、電源異常・電源断・電源スイッチを OFF にした時、消灯します。

(4)PSY ALARM LED

電源ユニット A、B に対応した電圧のアラームランプです。

電源異常・電源断・電源スイッチを OFF にした時、橙色点滅します。

電源ユニットの電源供給がなくなった場合アラームランプは点灯しませんが、筐体背面の TALLY から接点アラーム信号が出力されます。2 台の電源ユニットを引き抜いた場合でも接点アラーム信号は出力されます。

(5) 電源ユニット A

筐体の電源ユニット A です。電源ユニットを二重化しない場合は A 側にてご使用ください

(6) 電源ユニット B

筐体の電源ユニット B です。電源ユニット B は二重化運転用のオプションです

(7)電源ユニット用 取手

電源ユニットを挿抜の際に使用する取手です。

(8)電源スイッチ

電源ユニット A、B に対応した筐体の電源スイッチです。

(9)電源ユニット用ガイド

電源ユニットがこの隙間に来るように挿入します。

注意！ 電源ユニットに異常が生じた場合は、速やかに異常が生じた電源ユニットの電源スイッチを OFF にし
筐体から引き抜き、弊社までご連絡ください。

2. 筐体背面

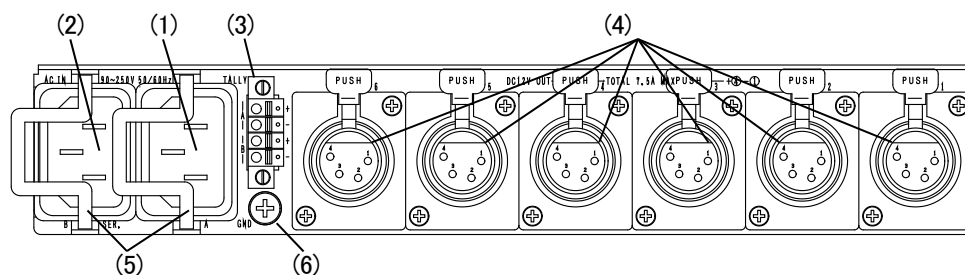



図 3-2 各部の名称(背面)

(1)三端子電源コネクタ

電源ユニット A で使用する三端子電源コネクタです。

(2)三端子電源コネクタ

電源ユニット B で使用する三端子電源コネクタです。

(3)TALLY

筐体の電源に異常が発生した時、接点アラーム信号が出力されます。

(4)外部供給用コネクタ XLR-4(f) (1:-、4:+)

電力を外部へ供給するコネクタです。

※ 使用可能な電流容量は 6 分配の合計が 7.5A になります。6 分配の合計消費電流が 7.5A 以上になると保護回路が働いて

電源供給機能が停止するか異常発熱により筐体破損を起こしますので、確実な仕様範囲内でのご使用をお願いします。

PSY-30 本体へ筐体を接続する際、一瞬ですが供給電圧に電圧降下が発生します。筐体の接続時には PSY-30 本体の電源を切るか

接続する筐体が電圧降下範囲内で稼働できるかの確認をお願いします。

参考値・・・消費電力 1A 電圧降下約 1V :消費電力 2A 電圧降下約 2V:消費電力 7A 電圧降下約 5V

(5)電源ケーブル抜け止め金具

電源ケーブルの抜け止め金具になります。

※ 簡易的な抜け止めになりますので、抜けない事を保障する物ではありません。

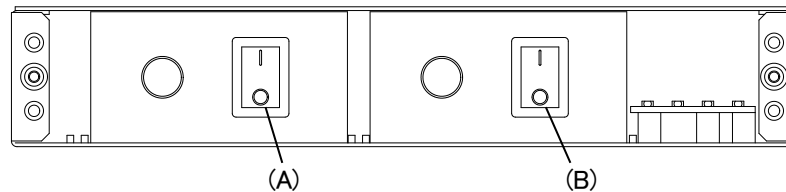
(6)アース端子

フレームGNDです。

4. 電源ユニット　交換・増設方法

・Ｐ－Ｉ ～Ⅲ「この製品を安全にご使用いただくために」の内容を確認し、安全に作業を行ってください。

1. 電源ユニット　交換方法

電源ユニットに異常が生じた場合の対処方法です。当社から交換用の電源ユニット(2 台)が届くまでは、異常が生じた電源ユニットの電源スイッチを OFF にし筐体から引き抜いて下さい。1 台のユニットで長時間耐えられます。電源交換を行う際は、下記の方法に従い 2 台の電源ユニット交換を行ってください。

（1）24 時間運転を行っている場合。

1）故障した電源ユニットを A、もう一方の故障していない電源ユニットを B とします。

2)前面パネルを取り外し、故障した電源ユニット A の電源スイッチを OFF にして電源ユニット A を引き抜きます。

3)新しい電源ユニットのスイッチが OFF であることを確認し、筐体に実装して電源を ON にします。

4)もう一方の電源ユニット B の電源スイッチを OFF にし、電源ユニット B を引き抜きます。

5)新しい電源ユニットのスイッチが OFF になっていることを確認して筐体に実装し電源を ON にします。

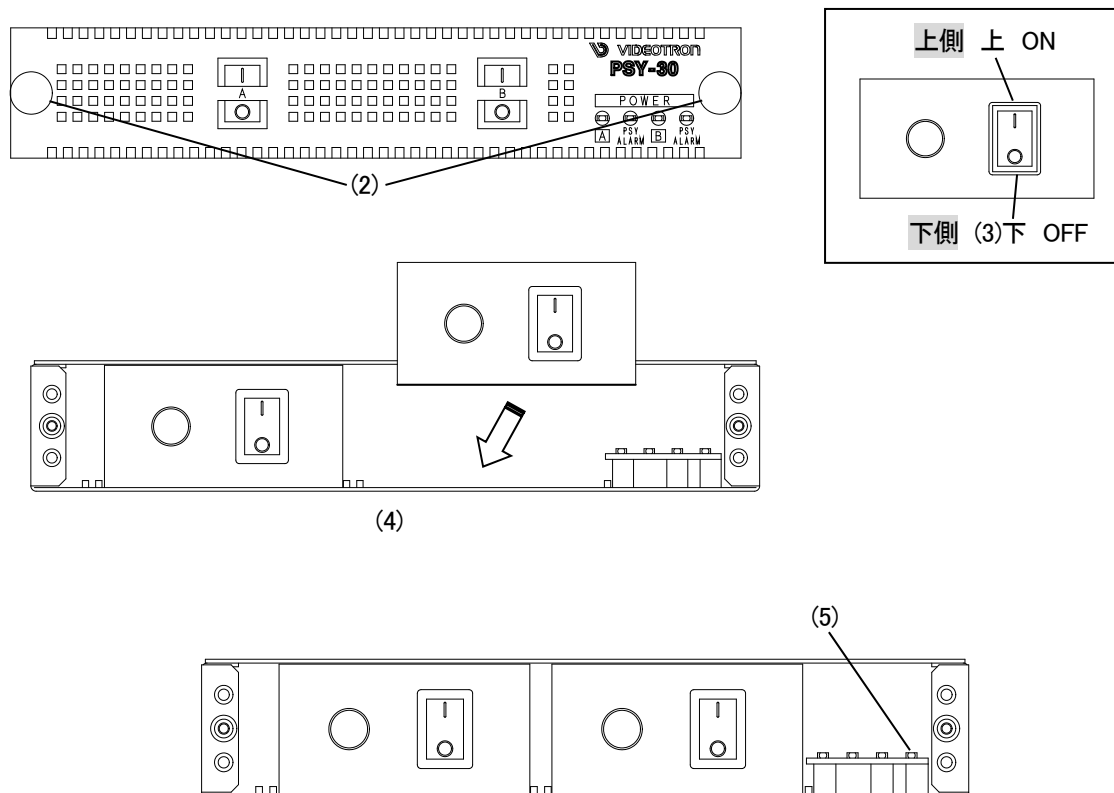
6)実装されている電源の動作に問題ないことを確認し、前面パネルを取り付けます。

（2）24 時間運転を行っていない場合。（必要に応じて電源をその都度入れてご使用されている場合。）

1） 前面パネルを取り外し、電源ユニット A、B の電源スイッチを 2 台とも OFF にして電源ユニット A、B を引き抜きます。

2)新しい電源ユニット A、B のスイッチが 2 台とも OFF になっていることを確認してから筐体に実装し電源を ON にします。

3） 実装されている電源の動作に問題ないことを確認し、前面パネルを取り付けます。

2. 電源ユニット 増設方法

⑴筐体背面にある三端子電源コネクタへ、増設用電源ユニットに同梱されている AC ケーブルを追加実装します。

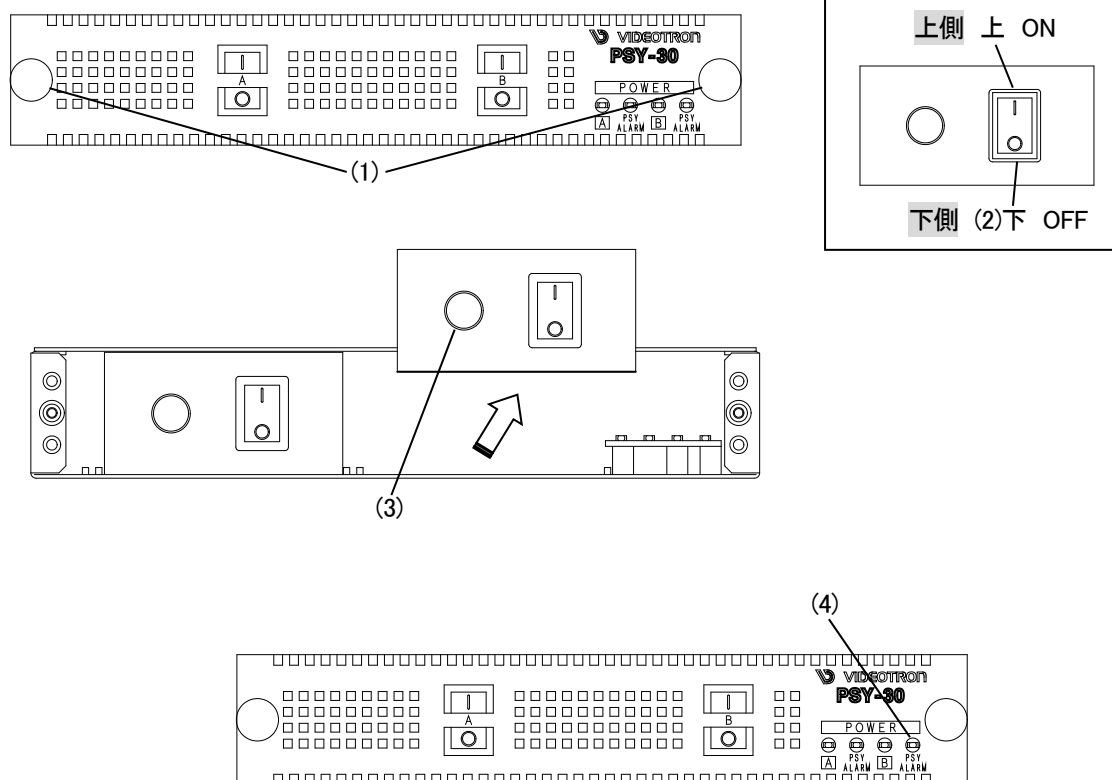
⑵前面パネル固定用ネジを緩め前面パネルを取り外します。

⑶電源スイッチが OFF になっている事を確認します。

⑷電源ユニットの上下方向を確認し電源ユニット用ガイドの間に垂直・水平に挿入します。

⑸電源スイッチを ON にし、前面パネルを取り付けます。

PSY−30 前面にある PSY ALARM LED が橙色点滅していなければ正常動作となります。

3. 電源ユニット 取り外し方法

(1)前面パネル固定用ネジを緩め前面パネルを取り外します。

(2)取り外す側の電源スイッチを OFF にします。

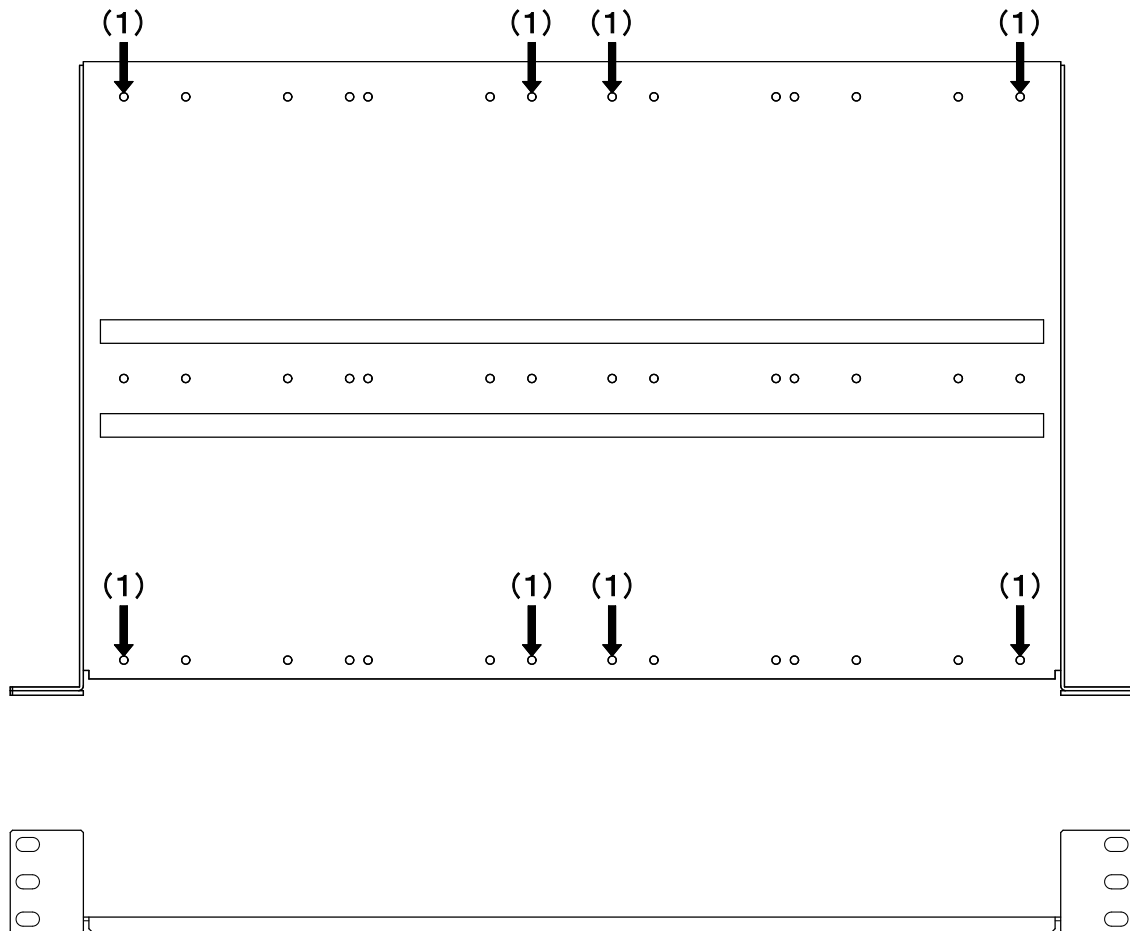
(3)挿抜用取手を使用し電源ユニットを引き抜きます。

(4)前面パネルを取り付けます。PSY-30 前面にある LED で、引き抜いた側の PSY ALARM LED が橙色点滅していれば正常動作となります。

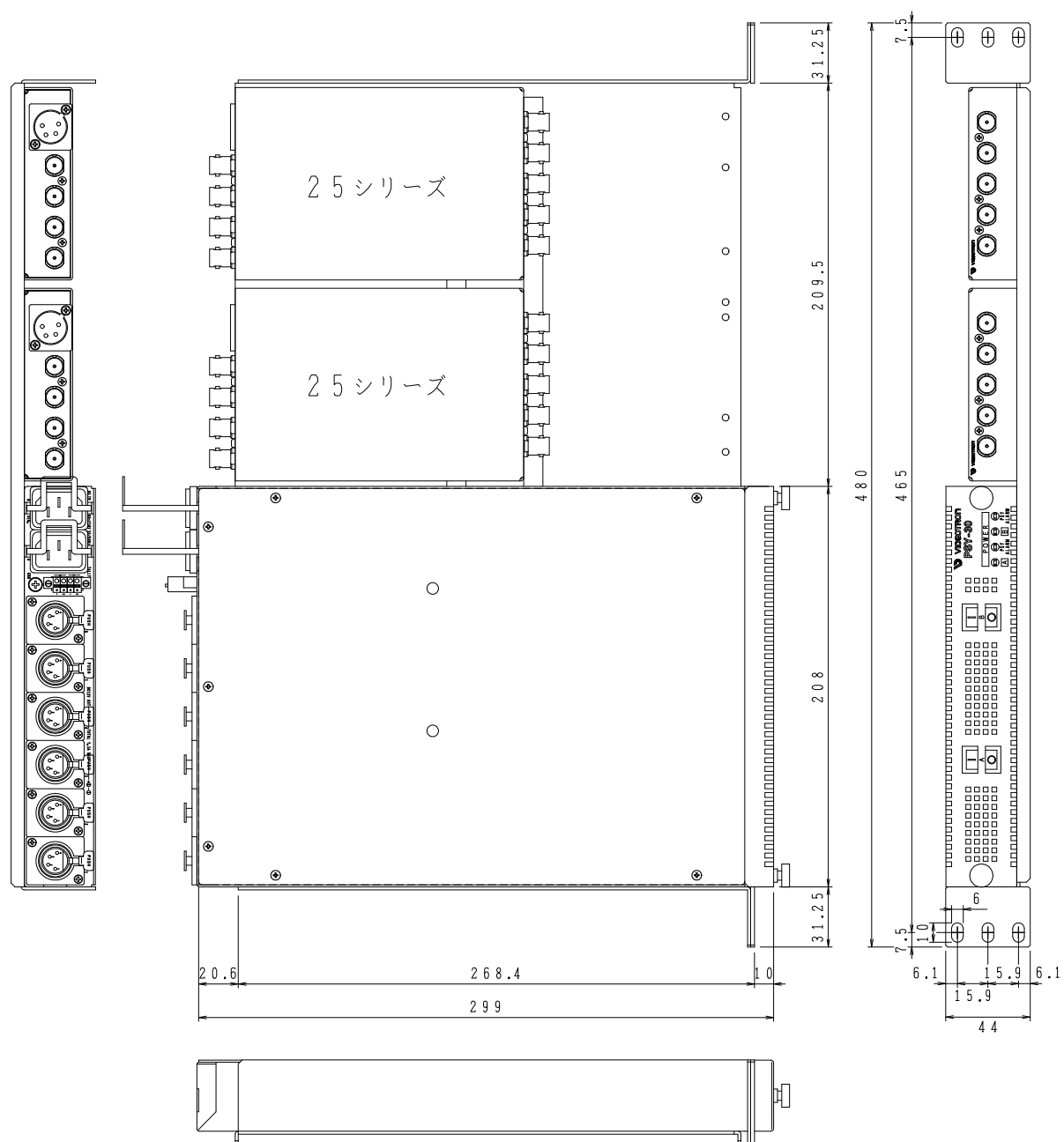
5. RM-25A ラックマウントキット組立て方法

・P－Ⅰ～Ⅲ「この製品を安全にご使用いただくために」の内容を確認し、安全に作業を行ってください。

・オプションのご購入については当社営業部までご連絡ください

1. PSY-30　取り付け位置

(1)　PSY-30 底面のゴム足を取り外します。

(2)　ゴム足取付け穴を使用し、ラックマウント裏面より付属ネジ(M3x6　バインド)にて確実に締め付けてください。

2. RM-25A　ラックマウントキット組立て完成イメージ図

6. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。
（文中の→は対処方法を示しています）

現 象 POWER LED が点灯しない！
原 因
・筐体正面の電源スイッチは ON 側になっていますか？
・筐体の電源ケーブルは確実に接続されていますか？
→ 接続が正しくて点灯しない場合は故障が考えられます。当社製造技術部までご連絡ください。
・正面の PSY LED は点灯していませんか？
→PSY LED が点滅している場合、筐体のつながっているシステムの供給電源に異常がある可能性があります。筐体をシステムから外し、正常な供給電源に接続してください。それでも症状が改善されない場合は、筐体の電源ユニットが故障した可能性があります。当社製造技術部までご連絡ください。

現 象 PSY ALARM LED が点灯した！
原 因
・筐体正面の電源スイッチは ON 側になっていますか？
・筐体の電源ケーブルは確実に接続されていますか？
→ 接続が正しくて点灯しない場合は故障が考えられます。当社製造技術部までご連絡ください。
→PSY LED が点滅している場合、筐体のつながっているシステムの供給電源に異常がある可能性があります。筐体をシステムから外し、正常な供給電源に接続してください。それでも症状が改善されない場合は、筐体の電源ユニットが故障した可能性があります。当社製造技術部までご連絡ください。

現 象 PSY ALARM LED が消灯しない！
原 因
・筐体への供給電源は正常ですか？
→筐体のつながっているシステムの供給電源に異常がある可能性があります。筐体をシステムから外し、正常な供給電源に接続してください。それでも症状が改善されない場合、筐体の電源ユニットが故障した可能性があります。当社製造技術部までご連絡ください。

現 象 電源ユニットが取り外せない！電源ユニットが実装出来ない！
原 因
・電源ユニット、もしくは筐体のフレームなどがゆがんでいませんか？
→ 筐体破損が原因と考えられます。当社製造技術部までご連絡ください。

現 象 PSY-30 へ接続した筐体が起動しない！

原 因

・筐体正面の電源スイッチは ON 側になっていますか？

・接続用ケーブルは確実に接続されていますか？

・接続したケーブルの配線は間違っていませんか？（ 1ピン:－ 4ピン:＋）

・接続した筐体の動作電圧は PSY-30 の電源出力範囲内になっていますか？

・接続した筐体は正常動作品ですか？

→ 配線や接続が正しくて起動しない場合は故障が考えられます。当社製造技術部までご連絡ください。

→PSY LED が点滅している場合、筐体のつながっているシステムの供給電源に異常がある可能性があります。筐体をシステムから外し、正常な供給電源に接続してください。それでも症状が改善されない場合は、筐体の電源ユニットが故障した可能性があります。当社製造技術部までご連絡ください。

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

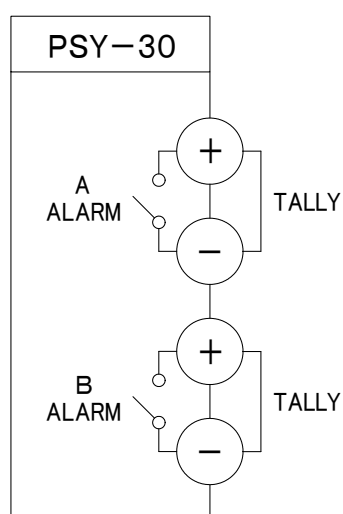
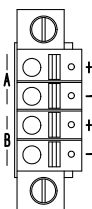
7. 仕 様

構 成

筐体	PSY-30
PSY-30 電源二重化オプション	PSY-30-01 標準 1 台 筐体へ実装済み

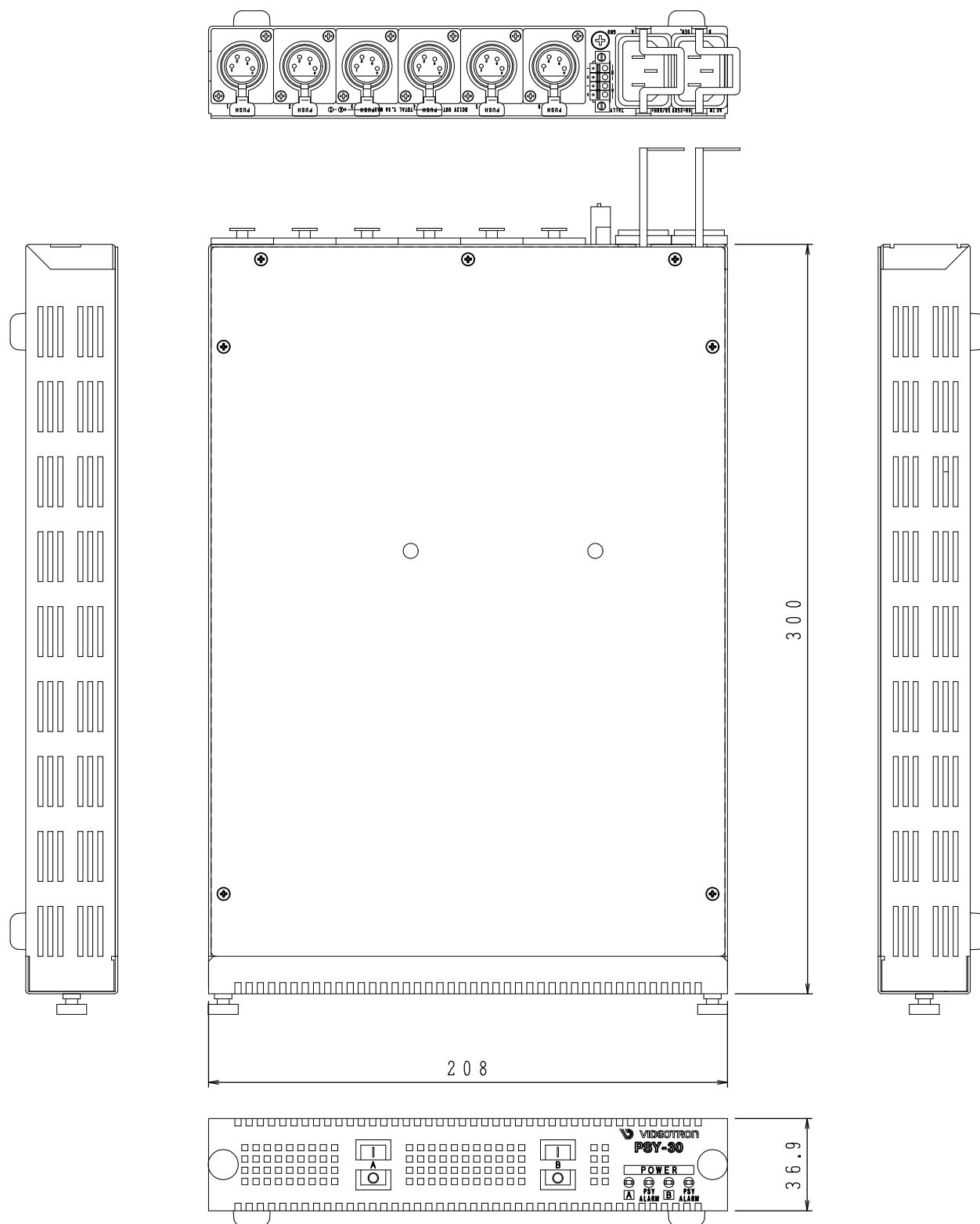
定 格

最大消費電力	100VA
電源出力	90VA（12V 7.5A） XLR-4(f) （1:−、4:+）
外部 I/F	
・TALLY	電源アラーム端子 4 極（A 電源用 2 極 B 電源用 2 極） 端子の絶対最大定格 AC･DC 60V 200mA 適合ケーブル UL1007 AWG28-16 ※アラーム接点は電源異常、電源停止のいずれかで異常発生側電源の端子(A 電源の＋−端子/B電源の＋−端子)がクローズします。
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH（但し、結露無き事）
電源電圧	AC90～250V 50/60Hz
外形寸法	208W×36.9H×300D(突起物含まず)
質量	3kg

TALLY 仕様

TALLY ピン配列

筐体背面側

アラーム接点は電源異常※1、電源停止のいずれかで異常発生側電源の端子(A電源の＋−端子/B電源の＋−端子)がクローズします。
端子の絶対最大定格AC･DC 60V 200mAです。
※1 電源が規定電圧(11～10.6V)を下回る時。

外形寸法図

・PSY-30

※注. 外観及び仕様は変更することがあります。

御使用者各位

ビデオトロン株式会社

製造技術部

緊 急 時 の 連 絡 先 に つ い て

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2－17－16

TEL 042－666－6329

FAX 042－666－6330

受付時間 8:30～17:00

e-mail:cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042－666－6311

緊急時 090－3230－3507

受付時間 9:00～17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。